



特集

未来の市政へ向けた一歩
～市民と議員の意見交換会～
令和7年第3回定例会Pickup案件

- ・令和6年度一般会計・特別会計決算を認定
- ・【補正予算】中学校整備事業など
- ・市議会から国に意見書を提出



CONTENTS

特集 意見交換会報告	P2
令和7年第3回定例会の結果	P5
一般質問(12人25項目)	P8
議会活動報告	P15
令和7年第4回定例会の予定	P16

self-portrait

工藤 詩織
KUDO Shiori

名古屋芸術大学 芸術学部
2024年度 卒業制作

総合ファシリテーターを
有限会社
Playful mindの
樋口 由訓氏に
務めていただきました。



10月4日、名古屋芸術大学アートスクエアにて、市民と議員の意見交換会を開催しました。たくさんの方にご参加いただき、市の未来について、いろいろなご意見をいただくことができました。詳細は市議会ホームページをぜひご覧ください。



特集

未来の市政へ向けた一步 ～市民と議員の意見交換会～



令和7年市民と議員の意見交換会 ～みんなでワイワイ！理想の街づくり会 議～



参加してくださった方の
感想を一部紹介します

市の
将来イメージ理想が
はっきりできた。

より良い北名古屋が
期待できた。

「今日からが北名古屋市の
スタートだ」と
いう気持ちで
住みよい街づくりを
してほしい。

たくさんの感想、ご意見、
ご提案をいただきました。

こんなに充実するとは
思いませんでした。

自分と似た
意見の方と
話せて良かった。

市民と
一体となって
意見を出せる
イベントは
もっとあっても
いいと感じた。

参加してたのしかったですか？

とても楽しかった	86.2%
まあまあ楽しかった	13.8%
ややつまらなかった	0%
つまらなかった	0%

いろいろな思いを
議員に知って
いただけて
よかったです。

若い
中高大学生の
参加も促すと
もっといいと
感じた。

議員の感想

ご参加いただいた市民の皆様には心から感謝申し上げます。

市民の皆様の身近な声が聞ける貴重な時間となりました。初めてお会いした方々とも対話が進み、素敵なお出会いがあり嬉しかったです。ご期待に添えるような活動に繋げたいと思います。

皆様の意見が素晴らしい、とても勉強になりました。さまざまな意見をお聞きできたので、地域のニーズを知ることができ、良かったです。

貴重なお時間を頂戴し、有意義な時間となりました。皆様の意見を反映できるよう、努めてまいります。



9 グループの発表内容に投票しました



10 最後までワイワイ意見交換できました



7 「こんな街にしたい」を3つに絞って



8 グループごとに発表しました



5 ひとりずつ発表し合い



6 グループ全員でまとめていきます



3 開始前から和やかな雰囲気です



4 それぞれの思いをふせん紙に



1 会場の装飾を事前に準備しました



2 全議員で会場準備

議案番号	議案名
議案第64号	令和6年度北名古屋市一般会計決算の認定について
議案第65号	令和6年度北名古屋市土地取得特別会計決算の認定について
議案第66号	令和6年度北名古屋市国民健康保険特別会計決算の認定について
議案第67号	令和6年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
議案第68号	令和6年度北名古屋市介護保険特別会計決算の認定について
議案第69号	令和6年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計決算の認定について
議案第70号	令和6年度北名古屋市下水道事業会計決算の認定について
議案第71号	北名古屋市基金条例の一部改正について
議案第72号	北名古屋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第73号	北名古屋市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
議案第74号	令和7年度北名古屋市一般会計補正予算(第3号)について
議案第75号	北名古屋市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
議案第76号	令和7年度北名古屋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
議案第77号	令和7年度北名古屋市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
議案第78号	北名古屋市高齢者活動センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第79号	北名古屋市ひとり親家庭等手当支給条例の一部改正について
議案第80号	北名古屋市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
議案第81号	令和7年度北名古屋市北名古屋沖村西部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第82号	北名古屋市道路占用料条例の一部改正について
議案第83号	北名古屋市法定外公共物の管理に関する条例の一部改正について
議案第84号	北名古屋市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第85号	北名古屋市下水道条例の一部改正について
議案第86号	北名古屋市公共下水道区域外流入分担金に関する条例の一部改正について
議案第87号	北名古屋市下水道事業審議会条例の制定について
議案第88号	市道路線の認定について
議案第89号	工事請負契約の締結について(訓原中学校校舎長寿命化改修工事)
議案第90号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書について

Pickup 議案第90号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について
議員提案 市議会から意見書を国に提出しました 可決

子どもの教育環境 教育予算に関する予算確保を
令和8年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう関係行政に要望する。

色のついている議案をピックアップし具体的にどう変わらるのかを掲載しております。
全ての議案内容は、市議会ホームページの「議案・請願とその審議結果」をご覧ください。

第3回 令和7年 定例会の結果

会期31日間
8月26日～9月25日

- 決算の認定……………7件
- 条例の制定……………2件
- 条例の改正……………11件
- 補正予算……………4件
- 契約の締結……………1件
- 市道の認定……………1件
- 意見書(議員提案)…1件

議決結果

議案第65、69、70号
全員賛成、認定
議案64、66、67、68号
賛成多数、認定
議案第71～77号、79号、81～90号
全員賛成、原案可決
議案第78、80号
賛成多数、原案可決

Pickup 議案第74号 北名古屋市一般会計補正予算(第3号)について
【補正予算】中学校整備事業 等 可決

中学校整備事業 30,481千円
訓原中学校プール施設解体により併設の部室や器具庫が失われたため、ユニットハウスとバリアフリートイレを設置。
旧鹿田南保育園解体事業 44,231千円 等

こんな質問が出来ました Q 現在部室がなく、不自由していないのか。
A 元々、長寿命化改修工事は前から話しあっており、教室内で工夫している。

所管事務調査とは、市から提案された予算案や条例案などの議案を審査するものとは違い、委員会が所管する事務について自主的に行う調査です。以下の内容について、先進地への行政視察を予定しています。
行政視察の様子については、次号にてご紹介いたします。

総務常任委員会 令和7年9月17日



新庁舎の整備について

●本市の現状

- 令和7年度現在、東西庁舎共に築50年前後が経過。「庁舎のあり方検討委員会」を発足し、将来の庁舎のあり方を検討している。

Q&A 質疑

Q いつまでに、現庁舎の長寿命化工事ないし新庁舎の整備ができるといけないのか、期限的なもの想定はあるか。

A 明確なものはないが、物理的耐用年数に鑑み、10年程度を目安として考えている。

DXの推進について

●本市の現状

- 令和5年10月に「北名古屋市DX基本方針」を策定。自治体情報システムの標準化・共通化を業務影響がないよう移行予定。市民への利便性向上のため、窓口業務のデジタル化について、システム調査を進めていく。

Q&A 質疑

Q 市民のDXへのニーズはどのように把握しているか。

A 窓口の手続きやオンライン申請などを中心に取り組んでいきたいと考えている。

福祉教育常任委員会 令和7年9月12日



ひきこもり支援事業について

●現状における課題

- ひきこもりの子を持つ親や親族等からの相談があるものの、当事者と繋がりにくいことがあり、相談支援体制のあり方や支援を必要とする本人及び家族を合わせた伴走型相談支援体制への再構築が必要。

Q&A 質疑

Q 時代によって価値観が変わってくるということも含めて、ひきこもり支援を続けていかないと感じたが、どうか。

A 考えなければいけない時期に来ている。

子育て支援事業について

●本市の課題

- 産後ケア事業(宿泊型)、産後ヘルパー派遣事業において、利用者の希望に添えない場合がある。
- 支援の必要な妊婦が増えている中、見守りが困難な場合がある。

Q&A 質疑

Q 産後ケア事業をもう少し利用してほしいという思いはあるか。

A 訪問型、宿泊型とも少ないということでは認識している。受入先の状況等にもよるが、周知を徹底していきたい。

建設常任委員会 令和7年9月16日



道路等包括管理事業について

●本市の現状

- 個別のインフラ施設については地区・業務ごとに業務を発注し、それぞれの業務を個別の業者が受注している。
- 令和6年度(道路・排水路関係)発注件数年間: 約70件

●本市の課題

- 職員体制: 技術系職員に限りがあり、計画的維持に十分な時間が確保できない。
- 契約業務: 発注件数が多く、手続きに係る事務負担が大きい。

都市農業について

●本市の現状

- 市の耕地総面積は約368haで、総面積に占める耕地割合は約20%、市が農地を借り、整備区画化して市民に貸出しているレジャー農園の利用率は、92.36%。

●本市の課題

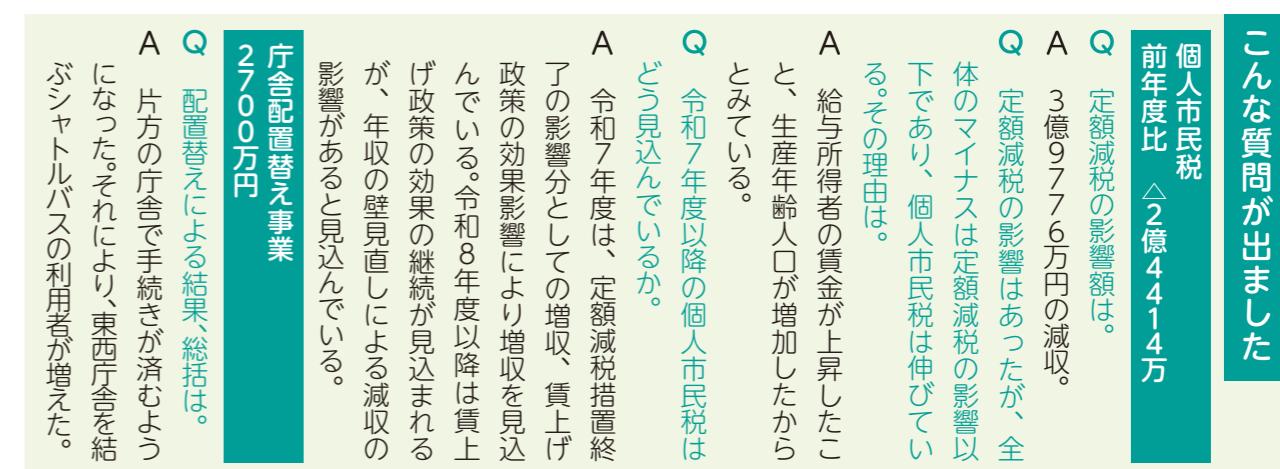
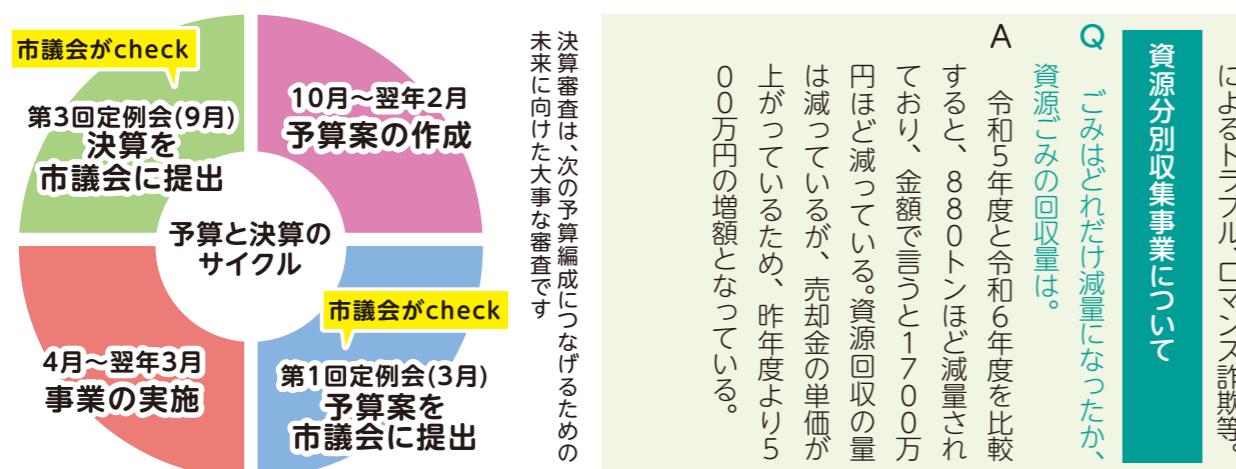
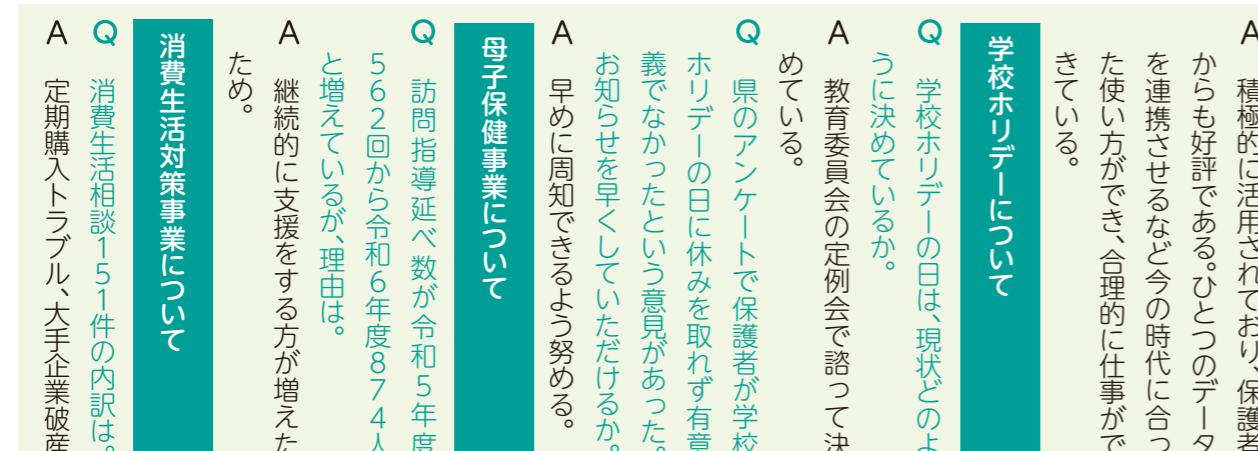
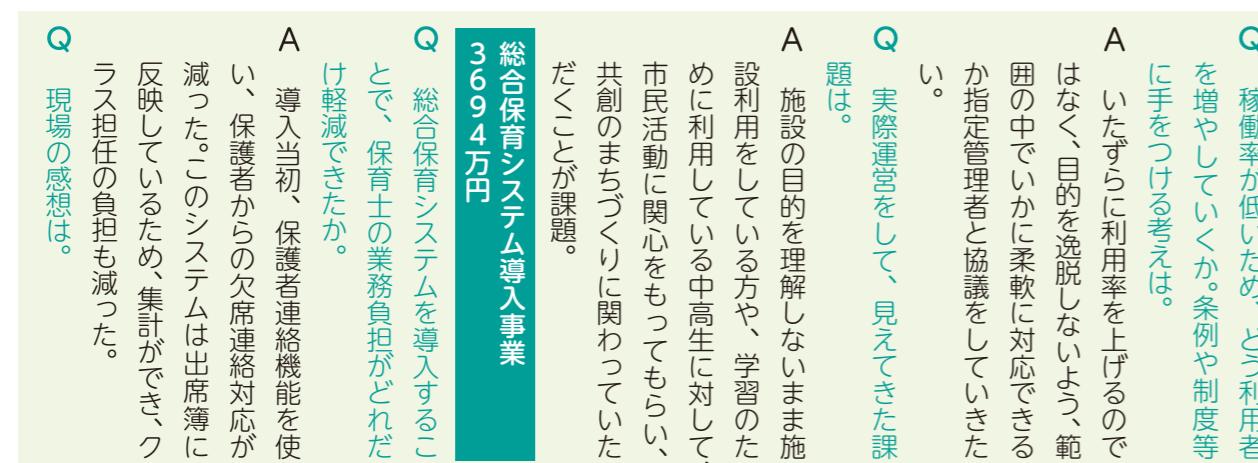
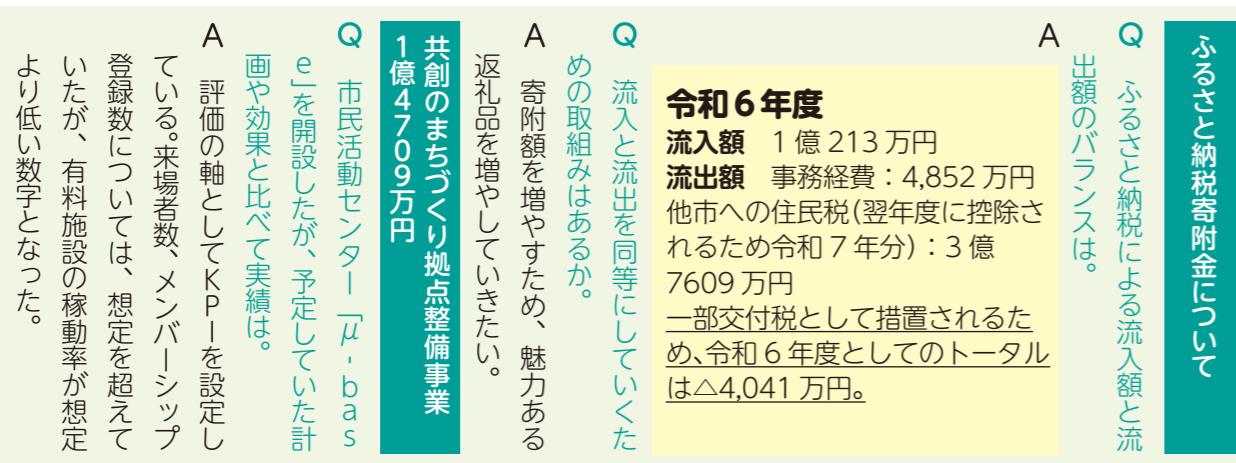
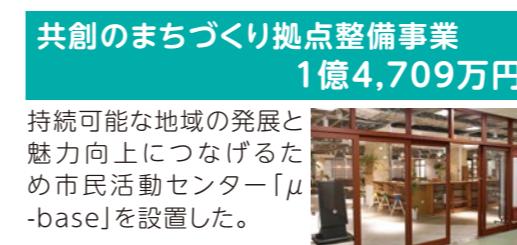
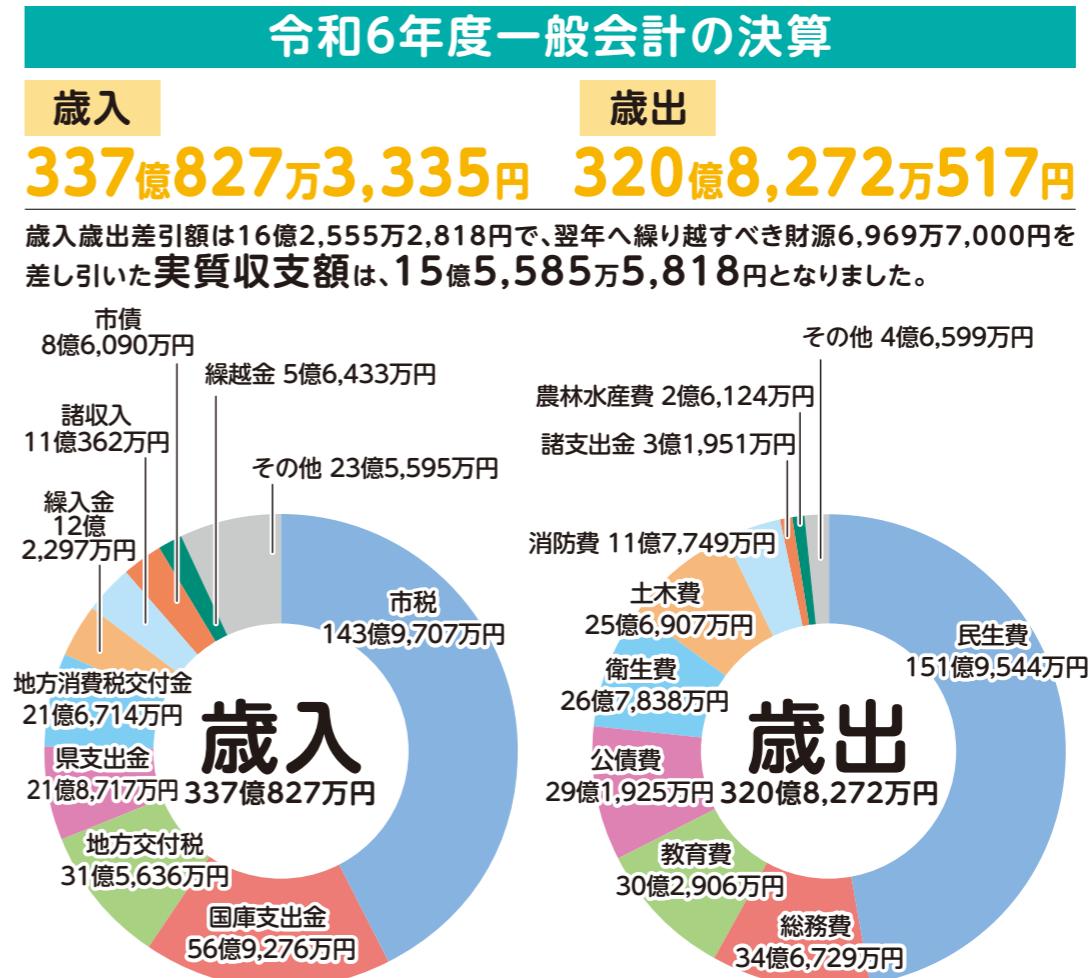
- 農業全般の課題: 農地の減少、担い手不足等
- レジャー農園の課題: 雜草管理の負担増、駐車場不足等

Pickup
議案第64号 令和6年度北名古屋市一般会計決算の認定について
【令和6年度 決算】決算関係書類は正確に作成され、適正に執行されました

議案第64号 令和6年度北名古屋市一般会計決算の認定について

忍定

こんな質問が出ました



一般質問

質問議員12人

質問25項目

一般質問とは
皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。
今回の一般質問であなたの生活にかかる内容はありますか？

一般質問の内容は動画で視聴できます。二次元コードまたは市議会ホームページから「議会録画中継」を選択してご覧ください。各議員の記事の右下にあります二次元コードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問に関する録画配信ページにつながります。



生活安全部

寺院と大規模災害時の協力協定について

井上 一男（市政クラブ）

QRコード

南海トラフ沿いでは、巨大地震がいつ起きてもおかしくない。日頃から一人ひとりが対策を考え、地域が連携し、避難準備をする必要がある。東日本大震災では、寺院が避難所として地域の多くの被災者を受け入れた。地域防災は寺院も含め、総力を挙げて取り組む事が課題となる。行政が地域を見守り続ける寺院と大規模災害時における協力協定を締結する必要があると思うが。①寺院と災害協定を締結する考えは。また、締結する場合の想定内容は。

②寺院の耐震診断や耐震補強に補助金など支援をする考えは。
③各地域の指定遺体安置所は決めてあるか、また、災害協定に遺体安置所として指定する考えは。

生活安全部長

南海トラフ沿いでは、巨大地震がいつ起きてもおかしくない。日頃から一人ひとりが対策を考え、地域が連携し、避難準備をする必要がある。東日本大震災では、寺院が避難所として地域の多くの被災者を受け入れた。地域防災は寺院も含め、総力を挙げて取り組む事が課題となる。行政が地域を見守り続ける寺院と大規模災害時における協力協定を締結する必要があると思うが。①寺院と災害協定を締結する考えは。また、締結する場合の想定内容は。

②寺院の耐震診断・耐震改修工事に関する補助は住宅対象のため、今後、他の導入事例等について研究を進める。
③遺体安置所は広いスペースが必要で具体的な場所は定まっていない。市内仏教会との災害協定において、一時的な遺体安置所としての協力について協議を進めていく。

- その他の質問
- 必要最低限の備蓄について
- 大規模災害時のトイレについて

福祉こども部

地域包括支援センターの認知度向上について

まみや 文枝（公明党）

QRコード

本市では現在、4か所の地域包括支援センターで、高齢者の相談や介護予防教室の開催など多様な取組が進められており、福祉避難所、遺体の一時安置所としての施設の提供、車中泊避難者の車両の駐車場の提供、遺体安置所での読経等の協力について協議を進めている。
②本市の耐震診断・耐震改修工事に関する補助は住宅対象のため、今後、他の導入事例等について研究を進める。
③遺体安置所は広いスペースが必要で具体的な場所は定まっていない。市内仏教会との災害協定において、一時的な遺体安置所としての協力について協議を進めていく。

地域包括ケア推進室長

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②名称や愛称の工夫を検討する考えは。
③周知方法の強化の考えは。

その他の質問

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②名称や愛称の工夫を検討する教育現場づくりについて
③周知方法の強化の考えは。



総合政策部

今後の北名古屋市の展望について

福岡 康（市政クラブ）

QRコード

太田市長は「ともに進める、新しい北名古屋市へ。」をスローガンに、「5つの約束」と「行財政改革」を公約に掲げ、令和4年に当選されたが、市民説明会や市民対話集会を行い、直接市民の声を聞き、説明したことで市民と行政の距離感が身近になつたことは大いに評価している。
しかし、行財政改革による予算削減で「何かを申請しても予算がないから断られてしまった。」という市民の声を耳にする。行財政改革は賛同するが、改革計画を市民に示し、丁寧な説明が重要だと考える。
公約にある「市制20周年に向けて、市民とともに北名古屋市基本条例を制定」について、今後どのように進めていくのか示すことが必要ではないか。
①未着手公約の実現に向け、今後どのように進めるか。
②今後を見据えた新たな施策があれば。要だと考える。

本市では現在、4か所の地域包括支援センターで、高齢者の相談や介護予防教室の開催など多様な取組が進められており、福祉避難所、遺体の一時安置所としての施設の提供、車中泊避難者の車両の駐車場の提供、遺体安置所での読経等の協力について協議を進めている。
③主に広報の特集やホームページ、LINE等により実施。人目につきやすいポスター等を作成し、関係機関や人の多く行き交う場所への掲示について検討していく。また、具体的なサービス内容や相談例の記載等、工夫したことだけのではないか。

地域包括支援センターという愛称を付けることで、認知度が十分に届いていない。
しかし、現状として市民の地域包括支援センターという言葉そのものの認知度をどのように把握しているか。
メージを払拭する愛称を付けることで、市民にとって身近な存在と思っていただけのではないか。

①地域包括支援センターの現状の認知度をどのように把握しているか。
②名称や愛称の工夫を検討する工夫をどうやっているか。

その他の質問

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②名称や愛称の工夫を検討する教育現場づくりについて
③周知方法の強化の考えは。

地域包括ケア推進室長

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②名称や愛称の工夫を検討する考えは。
③周知方法の強化の考えは。

その他の質問

①地道な周知により、徐々に認知度が上がっていると感じている。
②名称や愛称の工夫を検討する教育現場づくりについて
③周知方法の強化の考えは。



他部署に影響を及ぼす事業への適正な査定について 清水 晃治（市政クラブ）



本市の高齢化率は、全国平均より低い値だった。しかし、2025年3月末の認定率は、ほぼ県平均と同じ値となり、介護給付費も増加し、いずれの上昇率は大きいものであった。

本市の介護予防施策や支え合える地域の存在は、他自治体と比較して介護負担を低く抑えていたが、コロナ禍における交流の断絶により、自治会加入率低下が加速し、補助金削減も加わり地域社会を形成する機会が失われた。

このままでは介護給付費が数億円規模で急増する危険性を秘めている。今後の予算編成では、今まで以上に広い視点で効果や影響を判断する総合的な査定が望まれる。

①行政の事業で統括して調整、判断する仕組みは。

②自治会活動をはじめとする地域づくり事業への大胆な予算の投入、また、自

治会が主体性を持った新たな提案に補助金を出す仕組みを検討すべきでは。

支援・認定率、介護給付費は県平均より低い値だった。しかし、2025年3月末の認定率は、ほぼ県平均と同じ値となり、介護給付費も増加し、いずれの上昇率は大きいものであった。

治会が主体性を持った新たな提案に補助金を出す仕組みを検討すべきでは。

副市長

①担当部署が事業の見直しや新規事業を立ち上げる場合、政策調整課、財政課を含めた3者で予算化に向け調整する体制となっている。事業の必要性や他事業への影響度合いによっては政策会議で総合的に判断して進めている。

②未来を支える重要な施策として、地域で支え合える体制、地域「ミユーニティの構築、その土台となる人づくりに取り組んでいる。財政状況を見ながら効果的な財源の投入と地域の活性化につながる補助金のあり方にについて検討していく。



他の質問

・要介護認定率と一人当たりの給付費について

①本市のがん検診率が低い背景は、他の市で実施されている「ワンコインがん検診」の導入についての考えは、今後、受診率向上のためにどのような取組を強化するか。

②検診の重要性や効果、早期発見の必要性などの情報が市民に十分認識されていないことが大きな要因。受診率が各がん検診における市民全体の対象年

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

国は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

③ホームページや市公式LINE、保健センター公式インスタグラムなどに各がん検診における市民全体の対象年齢に対するものであり、市が実施しているがん検診の受診者数のみしか把握できないことも要因である。

研究していく。

②ワンコインがん検診を導入することによって、受診率向上の手段の一つと考えるが、受診率や本市の傾向等を把握し、課題の整理をする必要がある。引き続き

ワンコインがん検診の導入について つるたりえ（公明党）



がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

①本市のがん検診率が低い背景は、他の市で実施されている「ワンコインがん検診」の導入についての考えは、今後、受診率向上のためにどのような取組を強化するか。

②検診の重要性や効果、早期発見の必要性などの情報が市民に十分認識されていないことが大きな要因。受診率が各がん検診における市民全体の対象年

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

③ホームページや市公式LINE、保健センター公式インスタグラムなどに各がん検診における市民全体の対象年齢に対するものであり、市が実施しているがん検診の受診者数のみしか把握できないことも要因である。

研究していく。

②ワンコインがん検診を導入することによって、受診率向上の手段の一つと考えるが、受診率や本市の傾向等を把握し、課題の整理をする必要がある。引き続き

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

①本市のがん検診率が低い背景は、他の市で実施されている「ワンコインがん検診」の導入についての考えは、今後、受診率向上のためにどのような取組を強化するか。

②検診の重要性や効果、早期発見の必要性などの情報が市民に十分認識されていないことが大きな要因。受診率が各がん検診における市民全体の対象年

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

③ホームページや市公式LINE、保健センター公式インスタグラムなどに各がん検診における市民全体の対象年齢に対するものであり、市が実施しているがん検診の受診者数のみしか把握できないことも要因である。

研究していく。

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

①本市のがん検診率が低い背景は、他の市で実施されている「ワンコインがん検診」の導入についての考えは、今後、受診率向上のためにどのような取組を強化するか。

②検診の重要性や効果、早期発見の必要性などの情報が市民に十分認識されていないことが大きな要因。受診率が各がん検診における市民全体の対象年

がんは日本人の死因1位の疾病であり、生涯で日本人の3人に1人ががんで死亡している。

本市は、「第4期がん対策推進基本計画」において、「誰一人取り残さないがん対策」を推進し、がん検診受診率の目標を60%に引き上げた。

本市では、土日に集団健診を実施するなど、働く世代への配慮が行われているが、本市のがん検診受診率は全国平均と比べて低く、受診率向上が必要である。

①本市のがん検診率



5年ぶりに改定された『日本人の食事摂取基準』では、骨粗しきょう症予防がこれまで以上に重視された。一方、過度な瘦身志向等を背景に日本の若年女性の「やせ」は深刻で、栄養不足とホルモン分泌低下は、骨量がピークを迎える時期の骨形成を阻害し、将来の骨粗しきょう症リスクが著しく高まる。その結果、妊娠・出産期の母子の健康、更年期の急激な骨量減少、そして高齢期の要介護につながる骨折など、女性の生涯

に渡り多大な影響を及ぼす可能性がある。北名古屋市でも15歳から19歳で「やせ」傾向が顕著で、将来的な骨粗しきょう症リスクの上昇を示唆している。北名古屋市では、骨粗しきょう症検診を40歳から実施しているが、対象を若年層にも広げ、骨密度測定に基づく検査と保健指導を行うことは、若年女性に生活習慣の改善や行動変容を促す上で有効で、必要不可欠な施策と考えるが、市としてどのようにお考えか。



健康課長

今後は、若年世代の女性に対し、痩せ過ぎによる骨量の減少や妊娠中のリスクについても啓発をするとともに、若年世代が参加するイベントで骨波形測定器を活用し、結果に応じた説明を行ってことで将来的な骨粗鬆症の予防対策を含めた健康意識の向上を図っていくたいと考えている。

その他の質問

・ケアマネのシャドーワークへの対応

静岡県沼津市議会

- 令和3年、コロナのまん延防止措置の観点等から、委員会の開催場所への参集が困難と判断される場合（大規模な災害、感染症のまん延、育児、介護、その他やむを得ない事由）に、オンラインを活用した委員会を開催することができるよう会議規則、委員会条例を一部改正した。

長野県飯田市議会

- コロナがまん延している中で、議会をいかに維持していくかの議論があり、令和4年に委員会条例を改正し、災害の発生、感染症のまん延防止、その他やむを得ない事由の場合、オンラインによる出席を認めた。
- 委員会だけでなく「協議又は調整を行うための場」についてもオンライン会議での参加を許可している。

視察を終えて 所感（抜粋）

- 全ての議員が出席できない場合も想定した対応を今後の課題として持っており、本市議会でも一人ひとりの議員が運営に責任をもって関わるような機会や土台づくりが重要である。
- 介護や育児の事由においてもオンライン会議で参加できることは、議員の働き方の選択肢を増やすこととなり賛成するものだが、議会が市民の為に成することは何かといった

市制施行20周年記念ポロシャツを市議会本会議で着用しました！

令和7年9月5日、9月25日開催の本会議にて、議員全員が北名古屋市制20周記念ポロシャツを着用し、市制施行20周年の機運醸成・PRを行いました。（令和8年第2回、第3回定例会でも着用予定です。）



11月は虐待防止月間です

**北名古屋市議会は
「子どもを虐待から守るまち宣言」
を決議しています**

皆様の声をお聞かせください

議会だよりをより充実させるため、皆様からのご意見ご感想をお聞かせください。

- 議会事務局
- メール giji@city.kitanagoya.lg.jp
 - FAX (0568) 23-3140



市議会モニター意見箱～第3回 定例会～

審議内容の理解ができた。
事業としての大さ、大変さが実感できた。
強く関心を引かれた。

その他たくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきました。今後の議会運営に役立てていきたいと思います。

議会だよりが
アプリで
読めます。

令和7年 第4回定例会の予定

11月28日(金) 午前10時	本会議(初日)
12月 9日(火) 午前10時	本会議(一般質問)
12月10日(水) 午前10時	本会議(一般質問) ※12/9にすべての日程が終了した場合は開催されません。
12月11日(木) 午前10時	予算決算常任委員会
12月12日(金) 午前10時	福祉教育常任委員会
12月15日(月) 午前10時	建設常任委員会
12月16日(火) 午前10時	総務常任委員会
12月17日(水) 午前10時	鉄道連続立体交差事業等検討特別委員会
12月22日(月) 午前10時	本会議(最終日)

請願書・陳情書の提出について

令和7年第4回定例会の審査対象となる請願書・陳情書の提出期限は、

11月19日(水)の午後5時(予定)です。

詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

本会議・委員会の傍聴

[受付時間] 会議開始30分前から

[受付場所] 市役所東庁舎 4階
東エレベーター前

※委員会は先着10名で、途中での入退室はできませんのでご了承ください。

ホームページをご覧ください

インターネットで議会の録画中継や議案の審議結果など様々な情報が見られます。みなさまのアクセスをお待ちしております。

※通信料はご利用者の負担となります。

北名古屋市議会

検索



表紙紹介

名古屋芸術大学 芸術学部 2024年度 卒業制作

工藤 詩織 KUDO Shiori

self-portrait

身の回りにある素材や糸を集めて自画像を制作しました。時間や経験を積み重ねて自分が存在していることを、素材や糸が重なり集積する様子で表現しています。普段とは違う方法で絵を描くことを考えていく中で線を重ねて絵を描くことと糸を重ねて織ることの類似性を見つけました。絵は平面に描かれているのですが、幅広く様々な表現があるからこそ面白いし、見る人によって姿や意味が変わるけれど、作者の答えは必ず存在するものだと私は考えています。

この作品は正面性があることが平面作品であると考え、絵としての自画像を制作したものです。

編集後記

●今定例会では、令和6年度の決算を2日間にわたり、慎重に審議しました。皆様からお預かりした大切な税金が適切に使われているか、各議員がそれぞれの目線でチェックし、活発な議論が行われました。

今後も、議会での活動が市民の皆様に分かりやすく伝わるよう工夫してまいります。併せてホームページの議会録画中継や会議録を是非ともご覧ください。

●昨年に引きつづき第2回目となる市民と議員の意見交換会を実施しました。合併してもうすぐ20年、今回は「市の将来イメージについて」をテーマに市民の方が望む将来イメージで、どんな街に暮らしたいかを市民の皆様と一緒に意見交換をしました。

参加者の皆様から「こんな街にしたい、あんな街がいいな」との活発な意見が飛び交い、何度も対話を重ねていく大切さや議会と市民の方々が深くつながる為の対話の大切さを感じることができました。

今後もさらに多くの市民の皆様と対話を重ね、住みやすい、住んでみたい、住みつけたい北名古屋市を目指していきたいと思います。

